

運営推進会議議事録

にこにこリハビリデイサービス

開催日：平成 29 年 11 月 22 日（水曜日）

開催時間：午前 13 時～13 時 45 分

開催場所：にこにこリハビリデイサービス

参加者：越谷市地域包括支援センター 川柳・大相模 S 様

近隣自治会長 T 様（当日仕事都合により欠席）

民生委員 地区会長 S 様

民生委員 地区副会長 A 様

民生委員 西方地区担当 N 様

検討内容

- ① 運営推進会議の意義について
- ② 運営推進会議の開催頻度について
- ③ 当事業所の運営について（実績）
- ④ 当事業所の今後の課題と予定について
- ⑤ 施設へのご意見、ご要望について

検討内容①運営推進会議の意義について

介護保険サービスの地域密着型事業所は、地域に根ざした事業を行うという役割を担っています。運営推進会議は、事業の透明性・健全性をさらに高めたり、周囲との連携を強化したりする狙いがあります。

地域密着型の事業所は利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、市町村の職員または地域包括支援センターの職員、有識者などにより構成される協議会「運営推進会議」を設置する必要があります。

運営推進委員会では事業所の活動状況を報告し、評価とともに必要な要望・助言を聞きます。

また、事業所が、利用者、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の「抱え込み」を防止することも目的としています。

検討内容②運営推進会議の開催頻度、開催メンバーについて

越谷市介護保険課、高橋様に確認

概ね 6 か月に 1 度の頻度の開催が望ましいです。

検討内容③当事業所の運営について

事故等の発生：

事業所内の転倒、転落事故なし。

当デイサービスはリハビリをメインとしている事業所です。施設内では積極的に活動を行っていただいております。勿論、拘束（物理的、精神的）は一切行っていません。ご利用者様に対して、十分なサービス提供が出来ていない部分もありますが、安全な環境でご利用いただけているという点に関しては、しっかりと対応が出来ていると考えています。

事業所内での緊急対応

1. 狭心症発作：事業所内で発作発症。意識消失。2～3分程度で意識回復。不整脈、徐脈あり。ニトロ屯用にて処方されていたものの来所時は不携帯（当事業所利用開始後、ご本人様からの聴取により処方されていたことが判明）。ご家族様に連絡し、薬を持参していただく。症状が落ち着いた為ご自宅へ送迎。
2. 胸痛、背部痛発症：安静の後、症状軽減。ご自宅へ送迎する。かかりつけ医⇒専門医受診。精査の結果、心筋梗塞や狭心症発作の可能性は低い。一応、ニトロ処方あり。経過観察へ。
3. 動悸、全身倦怠感発症：安静後、症状軽減。かかりつけ医（循環器）にて定期的に診察中。経過観察となる。

対応：・服薬については、利用開始時に確認。ご利用中に変更があればお知らせいただくように周知。
・極力温度差を少なくするように配慮。

検討内容③当事業所の運営について（実績）

H29.10.1～ 介護予防・日常生活支援総合事業サービス A を開始

- ・自立度が比較的高い方に対する、基準緩和型サービス。入浴や個別リハビリは行わず、短時間で必要なサービス（交流、リハビリ等）を行っていただく。

定員は5名。

現在サービス A のご利用は1名です。

人員配置：施設基準 人員基準 生活相談員1名 ヘルパー1名 管理者1名（機能訓練指導員との兼務可）

現状の人員配置

生活相談員1名 ヘルパー2名 送迎ドライバー1名（2名の曜日も有） 管理者1名（機能訓練指導員との兼務）/1日にて対応中。

利用者情報：

現在登録者数：41名

ご登録状況：定員10名

(+サービス A 5名)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	10	10	10	9	10
午後	10	10	9 (1)	10	10

※平成 29 年 11 月 20 日現在

※入院中の利用者様含む（退院後通所予定）

※カッコ内はサービス A 対象者

利用者別担当居宅介護支援事業所：

包括支援センター川柳・大相模：4名 包括支援センター増林：1名 包括支援センター蒲生：2名
こしがや社協：9名 にじ：8名 あおぞら介護サービス：4名 なごみの郷：3名
ジャパンケア：1名 ハーモニー：1名 コスモ：3名 応援プラン：2名
キャンベルホーム：1名 まるみ：1名 かがやき：1名 寿：1名

デイサービスでの活動状況

- ・リハビリ（個別リハ、マシン等の自主リハ、トランプ・折り紙・計算等の脳トレ）
- ・入浴
- ・アロマセラピー（余暇、リラクゼーション、認知症予防・・・）
- ・活動（製作物、演奏会等） ※活動のご様子は別紙写真にてご確認ください。

職員の教育：

- ・月に一度始業前に勉強会を開催中。

熱中症対策、プライバシー保護、バイタルサインについて・・・

検討内容③当事業所の今後の課題

今後の課題：

身体介護、健康管理：継続利用されているご利用者様の変化を観察、変化があり受診が必要と思われる場合は早急にご家族様やケアマネージャー様に連絡。緊急時の対応を徹底すること。風邪等の予防を徹底すること。

リハビリ：運動のマンネリ感を抑制すること。必要な場合はプログラムの変更。同じリハビリでも継続していくことが重要だということを適宜説明していくこと。

楽しみ：定期的な行事の検討、実施

職員の確保：介護職員不足の背景のもと、退職者に伴う補充の検討を要す。

介護保険法改訂に伴う対応：来年度は医療保険法、介護保険法同時改訂が予定されています。その中でいかに経営を成り立たせていくかの検討を要す。

活動の様子



6月 おやつレク（白玉ぜんざい）



6月 写真撮影会（大聖寺様にて）



8月 スイカ割



9月 敬老会（ビンゴ大会）

10月川柳を月間デイに投稿し、入選！！

参加者様からのアドバイス

越谷市地域包括支援センター 川柳・大相模 S様

新しいサービス（サービスA）をいち早く取り入れ、積極的に運営をされていて良いと思う。

人材不足はどの施設でも課題となっている。研修などをしっかり行い、業務に対するやりがいを持てるような施設づくりに取り組んでください。

抑制などはせず、引き続き自由な施設づくりに励んでください。

民生委員様

雰囲気明るくて良い。

色々なご利用者様がいらっしゃると思うが、人間らしい対応をしてあげてください。

ご利用者様の作品がとてもきれいで良い。